

富山県総合教育センターの大理石

富山県総合教育センターには、カーラビアンコ（イタリア産）がエントランスホール付近に使われています。カーラビアンコは白色系の代表的な大理石で、細工がしやすいので、あちこちの建物で使われています。富山県立近代美術館や、北日本新聞社本社、北陸電力本社ビル、タワートリプルワンなどで見ることができます。



この大理石は強い変成作用を受けている場合が多く、化石の保存状態はあまり良くありません。紡錘虫のフズリナの仲間や棘皮動物のウミユリ、頭足綱の仲間などを確認できません。

